

HSK

わだち

~~~~~おだちNo. 118~~~~~

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可

HSK通巻 351号

平成13年6月10日発行

毎月10日発行(1部100円)

編集 全国筋無力症友の会北海道支部

発行 北海道身体障害者団体

全国筋無力症友の会北海道支部ニュース

定期刊行物協会



総会翌日、大勢して大通り公園に繰り出す。公園は丁度ライラック祭り。  
一行は何故か底抜けに明るい。(5/20)

## も く じ

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| ☆ はじめに               | 1 ページ    |
| ☆ 「総会要望はがき」協力依頼      | 2 ページ    |
| ☆ 2001年支部総会プログラム     | 3～13ページ  |
| ☆ 2001年総会を終えて・・・鎌田瞭子 | 14～16ページ |
| ☆ みんなのひろば            | 17～19ページ |
| ◇ 長谷川むつ子さんからのお便り     |          |
| ◇ 支部総会返信はがきより        |          |
| ☆事務局だより              | 20～21ページ |
| ◇2001年支部大会のお誘い       |          |
| ◇夏祭り、サントリービアガーデン     |          |
| ☆ あとがき               |          |

## はじめに

○ 21世紀最初の支部総会が5月19日に無事終了しました。

振り返って見れば多くの会員に期待され、支えられて開かれた総会だったんだナーという思いを強くした総会でありました。

遠くは函館、釧路、留辺蕊、静内より、また空知からと駆けつけてくださいました。

更には来賓として北海道難病連代表理事の小田隆氏から祝詞と激励の言葉をいただきました。決意を新たに第一歩を踏み出すにふさわしい総会にいただいた事に対し、紙上をお借りして厚くお礼を申しのべさせていただきます。

○ 医療講演会では国立療養所札幌南病院の南 尚哉先生のお話をいただきました。特に新しい治療薬のお話に目を輝かせて聞き入っている会員の方々の姿が印象的でした。

(講演要旨は次号でお知らせします。お楽しみに)

○ 全国筋無力症友の会本部再建に関わる情勢については、その後際立ったニュースは伝わって来ておりません。この際全国各支部がなすべき事をしっかりとやって、その上で時期の到来を待つよりありません。希望を失うことなく頑張りましょう。

○ 全国総会開催要望はがきの集まりが大変悪い(全国各支部とも)との情報が入りました。北海道も例外ではありません。未提出の方は大至急送ってください。

(詳しくは次ページに掲載してあります。)北海道支部会員の力を示す時はこの機会をおいてありません。頑張ってください。全国支部がつぶれてからではもうおそいのです。なにを要望しても筋無力症患者の声はもう政府には届かなくなります。

(猪口記)

## 再度「全国総会開催要望はがき」協力依頼

—— 会員一人ひとりの意志表示が求められています ——

先の「全国ニュース NO. 3 でお願いしましたはがき戦術について（折込はがき利用）は現在までの回収成績は予想を遥かに下回り、戦術的に極めて不利な状況に立たされております。

私たちが願っているのは総会開催について相手方（本部）に開催拒否の言質を与えさせない絶対多数の支持率にあります。その為には本部直轄会員（200 名）を含めた過半数を視野に入れて全国各支部では絶対多数の回収率を実現する必要があります。

北海道支部会員の皆様の支持率が全国総会開催の原動力になるのだという使命感に燃えたご協力を心からお願いする次第です。（既にはがき提出にご協力いただいた方にはご免ください）

今こそ、全国筋無力症友の会は存亡の危機に立たされています。まさに会組織内は自己免疫症状とも言うべき現象を呈しています。これを克服するには、21 世紀における最大の患者会運動であるという認識に立って、全国組織確立のための一連の運動にご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。

※ はがきは全国集計の期日も迫っております。可能な限り急いでお願いします。（6 月 25 日までに提出してください）

〈注〉

- ① もし総会開催が不調に終わった場合、本部が言う「北海道支部の本部からの離脱勧告」に格好の言質を与えかねない、そしてこの紛争を益々混迷に導きかねない。
- ② また、筋無力症患者の会が全国一本の組織を失い、組織が弱体化した場合、政府が唱えている難病対策見直し対象第 1 号として特定疾患から除外されることも心配しなければなりません。高価な治療薬、手術料の一部自己負担が待ち構えております。

この特定疾患制度こそは私たちの先達者が生命を堵して斗い取った貴重な制度であることをもう 1 度思い起こして見ましょう。同時に福祉は決して上から与えられるものでないこと、すべて斗い取らなければならない事をこの機会に確認し合いましょう。

全国筋無力症友の会北海道支部  
2001年(第30回)定期総会

平成13年5月19日(土)  
於 北海道難病センター  
札幌市中央区南4条西10丁目  
☎(011)512-3233

## プログラム

- |   |              |               |             |
|---|--------------|---------------|-------------|
| 1 | 受 付          | .....         | 13:30       |
| 2 | 開 会          | .....         | 14:00       |
| 3 | 支部長挨拶        |               |             |
| 4 | 来賓挨拶・メッセージ紹介 |               |             |
| 5 | 議長選出         |               |             |
| 6 | 議 事          |               |             |
|   | ① 2000年度活動報告 | ④ 2001年度活動方針案 |             |
|   | ② 2000年度決算報告 | ⑤ 2001年度予算案   |             |
|   | ③ 2000年度監査報告 | ⑥ 2001年度役員改選案 |             |
| 7 | 閉 会          |               |             |
| 8 | 医療講演会        | .....         | 15:00~17:00 |
| 9 | 夕食会とおしゃべり会   | .....         | 18:00~      |

## 議案（１） ２０００年度（平成１２年度）の活動をふりかえって

（情勢）

- 特定疾患の見直し政策により、公費負担制度に一部患者負担を初めとした制度改革が導入されてから３年が経過しました。

また、医療保険制度や診療報酬制度の改訂により医療費に対する個人負担は急激に増加しました。

これら、国民不在とも言うべき非合理的な改革による悲劇が幾つか現れております。

- 中でも入院日数の短縮をねらった医療法の改正は、病院追い出しや病院たらい廻しの現象を生み、社会不安を招くに到りました。
- 多くの問題点を残したまま見切り発車をした介護保険は、改善を求める声が枚挙にいとまがない程で安定実施には時日が必要な状況である。
- なかなか不況から抜け出せない厳しい社会情勢の中で私たちは国や国会への陳情・要請をはじめ、道や道議会、全道市町村への要望、街頭署名・募金運動、市民へのアピール活動、機関誌の発行、地域患者会の振興活動、そして、その活動のための資金づくり等々……。全道支部会員・家族一丸となって頑張ってきました。
- 特に支部が一丸となり、他患者会と協力して成功に導いた一昨年「日本一周激励マラソン」道難病連が続く限り不滅の遺産として２１世紀に生き続けるものとなろう。

〈北海道難病連、全国筋無力症友の会（本部）、日本患者会・家族団体協議会（ＪＰＣ）との関わりの中で〉

- 全国筋無力症友の会北海道支部独自の活動は、主として支部組織の内に向けての活動ですが、私たちが抱えている諸問題を解決する為には、より大きな組織力を必要とします。
- ① 北海道難病連の構成団体（部会）として  
私たちの支部は北海道難病連の中にあっては「筋無力症部会」として他

の部会と協力して各種の活動を進めております。

筋無力症部会から難病連に、次の役員を出しております。

- 難病連事務局長（１） ○ 理事（１） ○ 評議員（３）
- 事業資金委員（１） ○ 合同の委員（１）

北海道難病連は、現在２８部会２２支部、１支部準備会、およそ１万３千６００家族の組織となっております。

昭和５８年に建設された「北海道難病センター」は全国に例を見ない施設であり、北海道の医療と福祉の向上に果している役割は誠に大なるものがあり全国の注目を集めております。他府県の患者会活動とも相俟って難病センター建設の気運が全国各地に起こっております。一昨年の「全国一周マラソン」によって更にその気運がたかまって来ました。

また、この難病センターは難病連の充実発展に伴ない狭隘となり、数年に亘る運動によって増改築が実現することになりました。

## ② 全国筋無力症友の会（本部）との関わりの中で

本来ならば全国運営委員会と全国総会に代表を送り、他支部と協力して、本部の体制強化を側面から支援する活動を進めるところであるが、本部活動が休止状態の現在では、臨時運営委員会に代表を送り、必要な業務を全国支部が分担している現状である。

## ③ 日本患者・家族団体協議会（ＪＰＣ）に対して

北海道難病連は更にＪＰＣの構成団体として、医療福祉の向上改善に向けて、国会請願活動や政府陳情行動をはじめ、各種の活動を続けております。そうした活動の充実発展が国民の代弁者としての地位を次第に確乎たるものにし、患者の声を国政に届ける道がひらけつつあります。

## 〈支部活動〉———２０００年度の特徴———

### ① 相談件数（１２－１２）

相談件数の漸減という量的な変化と共に医療相談オンリーから生活に関わる福祉面へと質的な変化が顕著に現れています。

- ② 新入会員（9→7）
- ③ 退会員（9→7） 会員死亡（2）、退会希望（5）
- ④ 会費納入状況（80%→85%）

納入率は年度により増減にばらつきがありましたが、今年度は通常の疾病団体としては良好、上位の納入水準を保っています。

- ⑤ 機関紙「わだち」の発行 …… 予定どおり年4回発行。

地区活動の活発化と相俟って会員の寄稿が多くなり、支部が目指している会員による「わだち」の編集に向って質的な変化が見られました。

- ⑥ 支部総会 …… 5月6日 出席人員 17名
- ⑦ 支部大会 …… 8月6日 出席人員 23名

○ 医療講演会

講師 国立療養所北海道第一病院神経内科 蔭山博司先生  
演題 「筋無力症～病態と治療について～」

- ⑧ 中空知地区交流会 …… 10月10日 出席人員 13名

⑨ 難病連の中で取り組む行事

○ チャリティバザー …… 支部役員総出動とボランティアの協力を仰いでの一大行事となっています。各方面からの善意に支えられて、年々実績が向上し記録を更新しています。

○ 国会請願署名・募金 …… 不況の影響を受けてか、募金額では前年に及ばなかったとは言え、署名数では前年実績を越えて記録更新を果たしました。会員の意識向上を物語っております。





議案(3)

全国筋無力症友の会北海道支部

2000年度会計監査報告

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

2001年4月5日

会計監査

氏名

望谷 正三子 

氏名

下 広 菜 

## 2000年度活動報告

- 4月
- 5月 北海道難病連総会 (4名参加)  
支部総会(難センター) (17名出席)  
全国大会 in 愛知 (9名出席)
- 6月 機関誌「わだち」 No.114号発行
- 8月 支部大会開催(函館)医療講演会(23名出席)  
北海道難病連難病患者・障害者と家族の全道集会(函館)  
(17名参加)
- 9月 機関誌「わだち」 No.115号発行
- 10月 JPC国会請願署名、街頭行動参加 (中道中村東谷)  
中空知地区交流会(赤平)高原温泉ゆったり(13名出席)
- 12月 機関誌「わだち」 No.116号発行  
難病連札幌地区チャリティクリスマス参加(26名)
- 2001年
- 1月 難病連全道役員研修会 (3名参加)  
札幌地区新年交流会 (12名参加)
- 3月 難病連チャリティバザー参加(中道竹村中村高橋久原東谷他)  
機関誌「わだち」 No.117号発行  
難病連部会経理打合せ (中村東谷)  
その他難病連理事会6回・事業資金委員会4回出席  
合同レクリエーション実行委員会4回出席  
月1回支部役員会開催 平均5名出席  
全国支部会議5回 (伊藤中道)

## 議案 (4) 2001年度の活動方針

- 全国筋無力症友の会本部、北海道難病連、日本患者・家族団体協議会（JPC）と共に、平和で豊かな社会の創造を目ざして頑張らしましょう。特に医療や福祉に関わる政治の動きには関心を持って研修を深めましょう。
- 支部の活性化を進めましょう。一事務局に新風を送りましょう—
  - ・ 事務局体制の強化 …… 事務局役員の増員と若返り
  - ・ 患者・家族の要求の掘り起こし …… 何でも話し合える仲間づくり、会員と事務局の信頼関係
  - ・ 21世紀に向けての活動の創造 …… 若い力・新しい考え方の導入・地域における患者会活動の振興
- 運動の輪を広げましょう。
  - ・ 友の会賛助会員の加入促進
  - ・ 難病連協力会員の加入促進
  - ・ 国会請願署名
  - ・ 募金活動の促進

### 活動方針の補足

- 介護保険問題  
難病患者にとっては、介護内容は期待できるものではなさそう。介護認定は厳しく複雑で、介護を受けることになったとしても、一定の自己負担が必要、それ以外の人には、どのような症状、障害者であっても一人ひとりに保険料の納付義務がある。
- 医療法改訂等の動き  
平均在院日数のしぼりや、診療報酬の入院時医学管理料の誘導で1か月以上の入院が難しくなっている。長期入院でしかも専門医療を必要としている患者にとっては非常事態。

## 2001年度行事計画

- 4月
- 5月 支部総会（医療講演会）（札幌）  
難病連総会
- 6月 機関誌（わだちN○118号発行）
- 7月 難合同レク第3回森の音楽会
- 8月 全道集会・支部大会（交流会）（札幌）
- 9月 機関誌（わだちN○119号発行）
- 10月 「重症筋無力症フォーラム」（東京）
- 11月
- 12月 機関誌（わだちN○120号発行）  
難病連チャリティクリスマスパーティー
- 1月 難病連札幌地区役員研修会
- 3月 機関誌（わだちN○121発行）  
難病連チャリティバザー  
部会経理打合せ
- 月1回 役員会開催 難病センター

議案(6) 2001年度役員改選

|        |       |                     |
|--------|-------|---------------------|
| 支部長    | 猪口 英武 | (機関誌編集委員・難評議員)      |
| 副支部長   | 中道 和子 | (全国運営委員・難理事)        |
|        |       | (機関誌編集委員)           |
| 副支部長   | 中村 待子 | (難事業資金委員・難評議員)      |
| 事務局長   | 東谷美智子 | (機関誌編集委員・難評議員)      |
| 会計     | 中村 待子 | (機関誌編集委員)           |
| 会計監査   | 室谷エミ子 |                     |
|        | 新出 静子 |                     |
| 運営委員   | 伊藤たてお | (難専務理事・難事務局長)       |
|        | 鎌田 毅  | (機関誌編集委員)           |
|        | 鈴木恵美子 | (機関誌編集委員)           |
|        | 中村真由美 | (機関誌編集委員・難合同レク実行委員) |
|        | 久原 和子 | (機関誌編集委員)           |
| 連絡会    |       |                     |
| (旭川地区) | 秋葉みどり |                     |
|        | 狩野 美幸 |                     |
| (釧路地区) | 南澤 道男 |                     |
|        | 橋本 秀子 | (難釧路支部役員)           |
| (十勝地区) | 藤井 政子 | (難十勝支部役員)           |
| (空知地区) | 林 麗子  |                     |
|        | 本田美津子 |                     |
| (函館地区) | 三品奈奈子 | (難函館支部事務局長)         |
|        | 水島蒼生子 | (難函館支部役員)           |
| (静内支部) | 新井 陽子 | (難静内支部役員)           |

## 2001年度支部総会を終えて

鎌田 瞭子

5月19日は筋無力症友の会北海道支部総会でしたが、折悪しく当日のちょうど重なる時間帯に既にはずせない予定が入っていたので、私たち夫婦は早くから準備をしている役員さんには申し訳ないが、早めに難病センターに出かけて支部総会の会場設営だけを手伝って、総会と医療講演会は欠席させていただいた。そして再び難病センターへ戻ったときには南先生の医療相談会が行われているところでした。

受け付け担当の東谷さんと中村さんが「イヤー、マスコミの力ってすごいね。」という。私も北海道新聞とNHKのお知らせで「筋無力症友の会の総会と医療講演会並びに相談会」のニュースは見聞きしていましたが、その影響か出席の返事が来ていた人が20名少々だったのに、実際に当日いらした方を含めると35名位に膨れ上がって、資料の用意などにてんでこ舞いをしたとのことでした。そんなに沢山の筋無力症に苦しむ人が潜在的にいる事を知って、『役員活動は大変だけど頑張ろうという意欲が再び盛り上がった』と言っている役員さんもおりました。

本当に役員の仕事って大変なんです。今は支部の仕事だけでなく、本部のニュースも発行していますので尚の事大変です。

その後、部屋を代えての夕食会はいつものように多くの方からの手料理などを交えて楽しい語らいの時間になりました。遠く函館や釧路、砂川、赤平等からの参加もあり、最近発病の人の悩みなどを聞かせていただきました。現在のように患者が医者を選べるような時代になっても主治医から適切な説明をいただけなくて悩んでいる人々もまだ居る実態なんですよ。

私は寝不足をすると翌日体調が悪くなるし、相棒のイビキで多くの人々の体調を狂わせても申し訳ないので泊まらずにその夜は帰宅しました。

多分いつ果てるともしれない楽しいお喋りが続いたことと思います。



翌日は円山公園界隈の散策の予定でしたが、今年の桜の開花は予想外に早くて、花見の時季をとくに過ぎてしまったので、大通り公園を散策することに変更になりました。20日は非常な好天で日陰は涼しいけれど日向は暑いという状態でした。殆どの方は難病センターから大通り公園まで歩いて移動できたんですよ。友の会発足の頃の総会の状態からは信じられないくらいの回復ぶりです。

大通り公園はライラック祭りまでまだ1週間もあるのに既にライラックが咲き誇りみごろを迎えていました。何十年かぶりに大通り公園をゆっくり散歩して（残念ながら私は車椅子）ライラックにも濃紫、薄紫、赤紫、白など微妙な色合いの違いがあることを発見して、自然の中にあることの素晴らしさを満喫しました。難病センターに泊まった方は朝食で余り物整理を兼ねて存分に食べて満腹だと言うし、折角の自然の中なのだから屋外で芝生の上でお喋りをしようということになり、車座になりワゴンで売っているアイス、ラムネ、掻き氷など好きなものを注文し、

又トウキビワゴンのトウキビの差し入れもあってしばし昔乙女とオノコに戻って楽しく談笑をしてから解散になりました。

天気に恵まれ、多くの出席者に恵まれ成功裏に支部総会は終了しました。



ただ私には残念で申し訳ない事が1つ。それは中村真由美さんが「アラジン」店長としての初月給で参加の方々にパウンドケーキを贈ってくださったという事を、更にまたそのケーキは早来の障害を持つ女性が心を込めて作ってくれたものであるという事を、途中で席を外したとはいえ、総会の席で皆さんにお伝えできなかった事が非常に心残りです。この場を借りて、《真由美さん、ケーキはとても美味しかったし、これからも店長として頑張るね》とエールを送ってお詫びに替えさせていただきます。





# みんなのひろば

長谷川むつ子さんから随筆と短歌が寄せられましたので、掲載させていただきます。

長谷川さんはMGの他にも、重篤な病が併発し、現在字を書くことも出来ぬ状況です。そんな中で字を書く代わりにワープロを覚えて手紙をしたためたり、短歌を作って作品集を作って居られます。

この懸命な努力に会員の皆様と一緒に喝采を送りましょう。

## 車椅子

長谷川 むつ子

春風に誘はれて行く車椅子桜吹雪の舞ひ散る路を

車椅子乗りたるままにうとうとと眠りの中を歩む驚き

車椅子我の手足になりかはり此の身支へてはやも七年

一人にて歩み叶はぬこの吾にそっと手をかす友のぬくもり

思ひきり此の車椅子投げ捨てて駆けて行きたし緑の大地

強く吹くこの追ひ風が我の背を意気地なしよと押ししてくれぬか

ぶつぶつと心に湧きし憎しみの泡も時すぎやがては愛に

野の花もいとしきものよ手折り来て挿せばやさしく窓辺にゆれる

櫛の鈴ふれば恋しや遠き日に父と乗りたる櫛の鈴音

痴呆とは悲しきものよあはれなる己れ自身が己れに非ず

今言ひし言葉忘れて同じこと繰返しつつ日はまた沈む

明けきらぬうちに起き出で徘徊す老いの一日が始まる一歩

## 雨風に打たれて錆びた車椅子

廃品置場で星空見てる

長谷川 むつ子



今から何年前の事だったろうか。車椅子

に対しての認識など何もなかった私が、偶然出逢った車椅子、それは乗る人もなく雨や風に晒されて錆だらけの車椅子が私の心の中に焼きついていたのですね。それは廃品置場に置かれてあったという事が、私の心の隅に消えずに残って居たのかも知れません。此の車椅子も、ありし日は車輪は光りシートは新しく、華やかにちよっと気取ってさっそうと街の中を走り、心よい風を受けて満足していたのではないでしょうか。過ぎ去った遠き日の事を思い浮かべて夜空の星を見ていた、そんな気がしてなりません。

今障害者となって車椅子にお世話になっている自分が、どれだけ車椅子を大事にしているだろうか。改めて自分を見つめ直しています。

今は、障害者のために様々な形や機能の車椅子が出来、障害者も安心して何所へでも出かけられるようになりましたが、まだまだ充分とは言えません。これからも私達障害者のために役立つ器具が出来ると思いますが、私も含めて障害者の皆さん頑張ってください。そんな事を考えながら、自分の足で歩ける事が当たり前と思ひ、外の事は考えてもみませんでした。この愚か者よ。車椅子にお世話になる身になって、一人で歩ける事の素晴らしさを初めて知りました。

車椅子よ、ありがとう（車椅子の一人言）

[総会返信はがきより]

♥ 西興部村 伊藤 則子  
去年行われた総会では楽しい思い出があり今年も出席したいと計画していましたが、とても残念です。4月から仕事の内容が変わりもうすこし忙しい毎日が続きそうです。次回には必ず出席したいと思っています。

♥ 仙台市 大友 寿子  
盛会をお祈り申し上げます。

♥ 函館市 大友美恵子  
いつもお世話になりありがとうございます。仕事で欠席します。  
(元気で働いています)

♥ 函館市 柏葉 真希  
どうしても仕事が休めず、残念ながら今回は欠席させていただきます。皆さんによりきお伝え下さい。

♠ 新冠町 葛野 盛孝  
4年前から妻が肝炎で通院中ですのでなかなか皆様とあうことができません、この度も行くことができませんが皆様頑張って下さい。よろしくお祈りします。

♥ 名寄市 星 香里  
元、下川町の阿部です、今回は欠席します。

♥ 札幌市 下広 栄  
お役に立てないで、ご迷惑をおかけします。

♥ 清水町 藤井 政子  
いつも欠席で申し訳ありません。子供が2才になり、わんぱくざかりです。12月の末には2人目を出産予定です。※先日送った会費とカンパの領収証は不要です。

♥ 函館市 三品奈奈子  
とても残念です、支部会議(幹事会)と同じ日です、全道集会でお会いできるのを楽しみにしています。

♠ 名寄市 川嶋 覺壽  
総会の成功を願っております、皆様方のご苦勞を感謝いたしております。

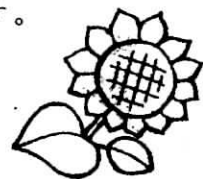
今後ともよろしくお祈り致します。

♥ 日高町 杉原みよ子  
いつもお世話になっております。体調がよければ、是非出席してお話を聞かせて頂きたいと思っておりますので、宜しくお祈り致します。

♠ 札幌市 俣野 優  
体調不良のため、皆さんによりき。

♥ 釧路市 砥石 久江  
まだマスクが取れず、少し風邪ぎみのため欠席させていただきます。

♠ 旭川市 滝田 清市  
ご案内をいただきましたが体調も十分でなく参加できません。ご盛会を祈念いたします。



# 事務局だより

## 2001年支部大会のお誘い

◆ 第28回全道集会在8月5日札幌かでの2・7で開催されます。

分科会で筋無力症部会は〔交流会〕を開催します。

日頃お困りのこと、嬉しいこと、ゆっくりお話いたしましょう。

大勢のご参加お待ちしております。

昼食後全道集會に参加します。

### 記

1, 日 時                    8月5日 (9:00~11:30) (全道集會の前)

2, 場 所                    かでの2・7

札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011-231-4111)

## 新会員の紹介

内山 恒志さん      芦別市

樋口 廣和さん      函館市      5月入会しました。よろしくお願ひします

## 会費納入お願ひ

◆平成13年度会費納入お願ひいたします。お確かめ下さい。貴方の

納入年度は、わだちの裏表紙に記入されています。

振替用紙を同封しています。よろしくお願ひします。

年会費 . . . . . 3600円

振込み先                郵便振替      02770-6-19712

全国筋無力症友の会北海道支部

# サントリー ビアガーデン

期間 7月21日(土)~8月10日(金)

時間 PM 12:00~PM 10:00

(ラストオーダー PM 9:30まで)

さっぽろ夏まつり福祉協賛

# サントリー ビアガーデン

## 7月21日~8月10日

### 大通西5丁目

正午~夜9:30まで

## ビアガーデン利用券

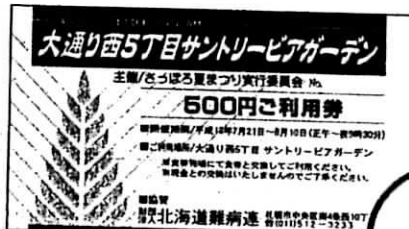
1枚 **500**円で販売中!

残りわずか  
札幌ロイヤルホテル内の  
レストラン等でも販売中!

本格的中国料理  
**龍園**

洋食レストラン  
**ルヴォワール**

和食レストラン  
**漁火**



## 北海道難病連

## あ と が き

### ◆ 世代交替のこと。21世紀のこと。

21世紀を迎えるのを機に一老兵は消え去るのみと以前から考えていたし、その準備も進めて来ました。そしてその機は熟せりと。しかし、“友の会は今、危急存亡の時”を理由に慰留の結果となりました。今年もよろしくお願い致します。

でも、支部の事務局情勢は世代交替を果たしたと同様の姿で進められている事に、ひとり安堵の胸をなでおろしております。事務局のどの人ひとりを取っても見ても、自分を大きく超えた立派な人材ばかりで、みんな組織人として会の発展に貢献できる能力と心意気を持っている人ばかりです。事務側の計画に従って、その行き届いた配慮に感謝と尊敬をもって行動するのみ。支部態勢は万全です。

21世紀への“わだち”第1号としての今号を発行するに当たり、全道の支部会員の日頃のご協力に感謝を申し上げます。

21世紀は心の時代と言われています。この時代の幕開けに信頼と感謝の心をもって出発できることを幸せに思います。 (猪 口)

### ◆ 昨年は世紀末、今年こそは、、、と思っていたら、不景気、デフレ、そして大阪の小学校の事など。

ああ、世も末かと思っていたが、「わだち」編集者一同の誠意熱意を見ていたら世の中捨てたものではないな。

みなさん、共にがんばりましょう。 (鎌 田)

### ◆ 今号では、鎌田さんの奥様、瞭子さんが大活躍。“支部総会感想”と“はじめに”“総会要望はがきの協力依頼”のワープロ打ち、本当にご苦労様。身体が疲れ過ぎて体調を崩さないで下さい。ご協力ありがとうございました。そして、発送にはいつもお手伝いいただき、高橋美津子さん。落ち着いて間違いが無いようにいつも気をつけて下さいます。

どの人一人欠けても「わだち」は出来上がりません。

今後も《チームワーク》良く、みなさんに会報を送りましょう。

- ◆ 2001年がスタートしたと思っていたら、もう半年が過ぎてしまいました。このところいやに月日の経つのが早いと感じるのは年齢のせいでしょうか。ご存じのように、東京本部は依然として機能を停止したままです。私たち会員をほうったまま、何の音沙汰も無く話し合いにも応じてくれようとしません。更にあきれたことに北海道支部で選出した支部長の猪口さんに対して「地位・資格停止通告書」なるものが送られてきました。

(4 23)

昨春から全支部で協議を重ねており、私も支部長の代理で数回上京し会議に出てきました。でも、1年やそこらでめどがつきそうにありません。みんなの力で友の会の機能を1日でも早く回復するには、これからも協議を続けます。で、この頃の私は体力が無くなってきたので、今年から若く、友の会再建に熱意を持っている、中村待子さんと世代交代します。

武田会長もお年ですがまだまだ頑張るおつもりでしょうか。心配です。

(中 道)

- ◆ 北海道神宮祭も終わり、いよいよ夏の到来です。皆様お元気でしょうか。支部総会も終わり、わだち発送も6月中に、間に合いました。

札幌地区合同レクリエーション「森のおんがく会」が札幌芸術の森野外ステージで行われます。今年で最後になるおんがく会、みんなで参加しませんか。緑の多い会場でお弁当を食べ、おいしい空気を存分に吸いませぬか。素敵な歌声や、フルートアンサンブル、ジャズオーケストラ、絶食ブラザーズの歌など、楽しい音楽で過ごしましょう。

(東 谷)

- ◆ 6月1日、全国支部会議に出席してきました。

全国から12支部の支部長が集まりました。いまだに硬直状態の本部、しかし、集まったみなさんの気持ちはひとつ、「早く会の活動を正常化しよう」です。今、私たちがしなければならない事は《総会開催要望書》を出すことです。いくら、支部長が集まって会議をしても、会員のみなさんの賛同が得らなければ、友の会の正常な活動は望めません。

貴重な時間を無駄にしないためにも、ぜひ一通でも多くの要望書を提出しましょう。

(中 村)

~~~~あなたの会費は~~~~

平成 年まで納入されています。

会費納入は、同封の振替用紙をご利用ください。

(年間3600円)

~~~~~  
編集人 全国筋無力症友の会北海道支部

〒064 札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター内 ☎(011)512-3233

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

札幌市西区八軒8条東5丁目4-18 細川 久美子

昭和48年1月13日第三種郵便物認可 HSK通巻 351号 1部100円

おだちN○.118号平成13年6月10日発行(毎月1回10日発行)